

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2021-36882 (P2021-36882A)

【公開日】令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)

【年通号数】公開・登録公報 2021-013

【出願番号】特願 2020-185772 (P2020-185772)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/38 (2006.01)

C 0 7 K 14/03 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/245 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/38

C 0 7 K 14/03 Z N A

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

A 6 1 K 39/245

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/22

A 6 1 K 48/00

C 1 2 N 5/0783

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 10 日 (2021.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の C T L エピトープの アミノ酸配列を含むタンパク質であって、前記複数の C T L エピトープのうちの少なくとも 2 つは、A D、K、または R から選択されるプロテアソーム遊離アミノ酸配列を含む 1 つまたは 2 つのアミノ酸配列からなるアミノ酸配列によって分離されており、外因性タンパク質として動物に投与されると細胞傷害性 T リンパ球免疫応答を惹起可能である、タンパク質。

【請求項 2】

前記エピトープが、HLAクラスⅠ特異性HLA-A₁、-A₂、-A₃、-A₁₁、-A₂₃、-A₂₄、-A₂₆、-A₂₉、-A₃₀、-B₇、-B₈、-B₂₇、-B₃₅、-B₃₈、-B₄₀、-B₄₁、-B₄₄、-B₅₁、-B₅₇および-B₅₈のうちの少なくともいずれかに拘束される、請求項1に記載のタンパク質。

【請求項3】

前記複数のCTLエピトープのうちの少なくとも1つがヘルペスウイルス抗原に由来する、請求項1に記載のタンパク質。

【請求項4】

前記ヘルペスウイルスがサイトメガロウイルス(CMV)またはエプスタイン・バーウイルス(EBV)である、請求項3に記載のタンパク質。

【請求項5】

少なくとも1つのCMV CTLエピトープが、pp50、pp65、およびpp150またはIE-1に由来する、請求項4に記載のタンパク質。

【請求項6】

配列番号1～21で示されるアミノ酸配列のうちから選択されるCTLエピトープ配列のうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載のタンパク質。

【請求項7】

少なくとも1つのEBV CTLエピトープが、BMLF1、LMP2a、BRLF1、LMP2、EBNA3A、BZLF1、EBNA3C、EBNA1およびEBNA3Bのうちから選択される1つ以上の抗原に由来する、請求項4に記載のタンパク質。

【請求項8】

配列番号22～41で示されるアミノ酸配列のうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載のタンパク質。

【請求項9】

配列番号22～41で示されるCTLエピトープアミノ酸配列から選択される複数のCTLエピトープを含む、請求項1に記載のタンパク質。

【請求項10】

請求項1に記載のタンパク質をコードする核酸。

【請求項11】

請求項10に記載の核酸を含む遺伝子構築物であって、発現ベクターにおいて1つ以上の調節配列に作動可能に連結されている遺伝子構築物。

【請求項12】

請求項10に記載の核酸を含むアデノウイルス。

【請求項13】

請求項11に記載の遺伝子構築物を含む宿主細胞または請求項12に記載のアデノウイルスに感染した宿主細胞。

【請求項14】

請求項1に記載のタンパク質、および薬学上許容される担体、希釈剤または賦形剤を含む、医薬組成物。